

京都橘大学 研究紀要 第51号(2024年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	オンデマンド型遠隔授業の知識確認テストの得点と自己省察の入力文字数の関係	千々岩 宏晃
2	“Yet we hasten slowly” — William Soutar’s Patient Nationalism Seen through the ‘Occasional Verse’ and Diaries of a Dying Man	アンガス, ノーマン
3	Using ChatGPT for Generating Automated Written Corrective Feedback from a Functional Linguistic Perspective: Affordances for Argumentative Writing Instructions	大澤 康二
4	Differences in Motivation for Learning English in Japanese Higher Education — Comparison between English Major and Non-English Major Undergraduate Students —	ゲツ, パトリック
5	The Importance of Post-Study Abroad Intensive English Lessons: The Advanced Communicative English Course at Kyoto Tachibana University	コネリー, クリストファー
6	Gamification in Tertiary Education: Impact on ESL Student Motivation for Out-of-class Learning	ドール, モーガン
7	ステークホルダーシップ継続に資するインセンティブに関する研究 — 岡山市京山地区における持続可能な開発のための教育の取組を事例として—	早川 有香
8	ChatGPTを活用した主体的学習法の開発—t検定の学習における革新的アプローチ—	池田 修
9	ドローンとジグソー法を活用した木曽三川における治水史に関する教材の開発と実践	萩原 彰 他1名
10	杵屋佐吉とポール・クローデル—『女と影』をめぐる—	佐野 仁美
11	台湾における小学校英語教育の現状	中野 聡
12	和算教材化に関する一考察:算額を題材にして	西村 徳寿
13	「特別の教科 道徳」の教科書の内容分析—「生命の尊さ」及び「疾病」を扱った教材に焦点を当てて—	藤岡 秀樹
14	令和の日本型学校教育としてのキャリア教育を考える	乾 明紀
15	青木昌彦の現代組織理論への貢献—ハーバート・サイモンの継承と発展—	竹内 直人
16	山岳誌『山』にみる「高原」の表象 —「高原」の誕生をめぐる地理学的研究に関するノート—	前田 一馬
17	アート作品にとって価値とはなにか	真田 正次
18	データサイエンスを用いた学食混雑問題の事例研究 — クロスオーバー型課題解決プロジェクトの実践から	桑 海侠
19	既存建築のリノベーションにより作られた書店空間に関する考察	政木 哲也
20	日本で働く看護師にとって魅力的な働く環境について考える:国際シンポジウムの報告	那須ダグバ 潤子 他4名
21	災害的手法を利用した京都橘大学におけるCOVID-19ワクチン職域接種の体制構築	関根 和弘 他7名

京都橘大学 研究紀要 第50号(2023年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	口論の捕まえ方—悩み相談サイトを対象とした口論の開始部の発話の分析—	千々岩 宏晃
2	公共図書館への住民からの要望の変遷 —『図書館年鑑』の分析から—	嶋田 学
3	平安京における石鍋利用開始期の様相—把手付石鍋に着目して—	南 健太郎
4	Effective Feedback Activities and Resources in English Writing Classrooms	アーミティジ, クリスティン
5	The Positive Effects of IELTS Intensive Courses on Japanese Students Planning to Study Abroad	コネリー, クリストファー
6	留学形態の差による学習者の様相の一考察: テキストマイニングを用いた質的調査	末澤 奈付子
7	小学校社会科に求められる「社会的な見方・考え方」を考える	倉持 祐二
8	コロナ禍におけるICT機器を活用した遠隔授業の検討—受講生へのアンケート調査を通して—	森 枝美
9	自閉スペクトラム症の子どもを対象とした高校生活への適応に関する支援の効果	杉山 智風
10	他者の不正が不正行為の同調に及ぼす影響: 課題の自己正当性によって不正の同調は促進・抑制されるのか	前田 洋光
11	高校生のキャリア展望と「総合的な探究の時間」の関係(2)—複線径路等至性アプローチ(TEA)と学習観タイプによる検討—	乾 明紀
12	ハーバード・サイモンの組織理論の構造的特性と限界—2層の限定合理性と環境の内生変数化—	竹内 直人
13	アニメ聖地巡礼における日常性の再強化と現実への拡大	牧 和生
14	Enhancing Understanding of the Bullwhip Effect in Supply Chain Management through Experiential Learning	桑 海峽
15	南アフリカのタウンシップにおける社会経済格差と文化の複層構造: 参与観察報告	鈴木 あるの
16	実習指導者・看護教員対象の「学生指導シミュレーション」に実習学生役として参加した看護学生の体験—参加後の感想についてのwebアンケート調査から—	奥野 信行
17	草津市の妊婦サロンにおける「産後早期の子育てに向けた家族教室(FFP: Fostering Family Program)」の効果	神崎 光子
18	依存症を抱える女性の回復を支援する取り組みに対するニーズ	小西 奈美
19	過去の臨床経験の違いによって異なる新人訪問看護師の特徴—同一患者の訪問を比較して—	座光寺 佑樹
20	日本におけるステップファミリーの実態に関する文献検討	福田 沙織
21	地域在住高齢者と繰り返し交流することによる看護学生の学びの変化—生涯健やか看護学実習Ⅰ(体力測定)での取り組みを通して—	深山 つかさ
22	訪問看護ステーションの運営 ～実践と理論の統合～	餅田 敬司
23	保育における作業療法士の視点の活用の検討—作業療法士と協働経験のある保育士1名のインタビューの分析—	森本 誠司

他1名

他1名

他2名

他4名

他2名

他5名

他1名

京都橘大学 研究紀要 第49号(2022年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	語「勉強(する)」の選択の要因の会話分析的研究	千々岩 宏晃
2	翻訳 国際検察局(IPS) 米内光政尋問調書	野村 幸一郎 他2名
3	The Positive Influence of Collaborative Testing in the L2 Classroom	コネリー, クリストファー
4	Hidden Liability of the Household Sector in Japan	佐久間 浩司
5	「指導と評価の一体化」を基にした中学校・高等学校での英語指導とその評価のあり方	中井 弘一
6	高等教育機関のサステナビリティ知識移転活動を分析するための文献検討	樋口 ゆかり
7	The Role of Universities and Governmental Organizations in Organizational Fields – The Case of the Japanese Nanotechnology Industry –	ファゼカシュ, バラージュ
8	幼児を対象とした交通安全教育の課題—モータリゼーション期における滋賀県草津市立幼稚園の事例から—	青木 美智子
9	1834年新救貧法下の貧困児童の施設養育に関する一考察 —救貧法委員会監督下の教区連合ワークハウスを事例として—	内本 充統
10	戦後日本の中学校における音楽創作活動の変遷—教科書の分析を通して—	佐野 仁美 他1名
11	高校生のキャリア展望と「総合的な探究の時間」の関係 —複線径路等至性アプローチ(TEA)と関係学による検討—	乾 明紀
12	変容する世界経済と日本における貿易・投資構造—グローバル化する日本経済の基本構造析出—	小山 大介
13	オタク文化における過度な消費と排他的行動の経済学	牧 和生
14	大学教育における卒業研究の評価規準体系化の試み	西野 毅朗
15	西洋人による日本文化の評価(その1)— 住まいとその周辺にまつわる記述の收拾 —	鈴木 あるの
16	初めての病院実習を経験した看護学生が考える病院実習前の効果的な学習	渡邊 有紀 他4名
17	初めての病院実習を経験する学生に対して教員が必要と感じる実習前の学習内容と方法	廣澤 紀代 他4名
18	日本の地域防災とソーシャル・キャピタルに関する文献検討	上野 まき子 他2名
19	外国出身保護者が保育所で感じる困難さ—保育所の情報提供に関する現状と課題—	那須ダグバ 潤子 他2名
20	定年退職後の男性高齢者の社会参加活動の状態と社会参加活動に対する思いの特徴	竹中 友希 他1名
21	地域在住高齢者の起立能力の実態、および転倒、生活様式、社会参加との関連	竹中 友希 他5名
22	手から感じる温度と部屋の温度が人物評価に及ぼす影響—身体化認知の観点から—	前田 洋光 他1名

京都橘大学 研究紀要 第48号(2021年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	日本人大学生の機械翻訳使用の実態調査と今後の英語教育への導入に関する考察	弥永 啓子(国際英語学部国際英語学科)
2	The role of organizational alliance networks in successful R&D: The case of Toyota's fuel cell development	ファゼカシュ, バラージュ(国際英語学部国際英語学科)
3	本居長世作品における民族性—新日本音楽に至るまで—	佐野 仁美(発達教育学部児童教育学科)
4	雑談における学習文脈で用いられる記憶の心的述語の会話分析的研究	千々岩 宏晃(発達教育学部児童教育学科)
5	コロナ禍時代の民主主義, どう教えるか—シティズンシップ教育の視点から—	水山 光春(発達教育学部児童教育学科)
6	キャリアを展望できる探究活動の特徴—京都府立鳥羽高等学校イノベーション探究Ⅱの実践から—	乾 明紀(経済学部経済学科) 他7名
7	科研費研究課題におけるイノベーションに言及した研究の動向:テキストマイニングによるパイロットスタディ	平尾 毅(経営学部経営学科) 他1名
8	災害状況把握としてのソーシャルメディアの活用可能性の検討	加藤 諒(工学部情報工学科)
9	廉価で可搬性に優れた赤外線画像撮影装置の開発 —歴史遺物調査での利用をめざして—	杉浦 昌(工学部情報工学科)
10	建築入門授業に対する一般学生からの反応の計量テキスト分析	鈴木 あるの(工学部建築デザイン学科)
11	経験2〜3年を有する看護師のクリニカルリーzing向上支援プログラムの内容妥当性・実用性・有益性の検討	岡田 純子(看護学部看護学科) 他1名
12	子育て期のひとり親が抱えるワーク・ライフ・バランスの課題と支援に関する文献検討	下田 優子(看護学部看護学科) 他4名
13	地域活動に参加する高齢者の身体活動状況、閉じこもり傾向、抑うつ傾向の経年的評価:新型コロナウイルス感染症流行前後の状況から	十倉 絵美(看護学部看護学科) 他5名
14	初めて病院実習を体験する学生に対して教員が指導で困難を感じた学生の状況	中橋 苗代(看護学部看護学科) 他4名
15	小児在宅ケアコーディネーター研修会を修了した看護師の活動状況と子ども家族主体のケアに関する認識	堀 妙子(看護学部看護学科) 他6名
16	大学生を対象とした防災意識を高めるための「0次の備えポーチ」作成体験型防災教育の有効性	マルティネス 真喜子(看護学部看護学科) 他3名
17	学生にとって初めての病院実習において教員が抱く指導上の困難	渡邊 有紀(看護学部看護学科) 他4名
18	Web上におけるくちコミの量と質が情報過負荷の発生と購買意思決定に及ぼす影響	前田 洋光(健康科学部心理学科) 他1名
19	京都橘大学健康科学部救急救命学科卒業生の実態調査と本学科に対する要望	黒崎 久訓(健康科学部救急救命学科) 他8名

京都橋大学 研究紀要 第47号(2020年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	Autonomy Online – The Performance of Extensive Reading and Synchronous, Interactive Classes	Alan Mulvey(国際英語学部国際英語学科)
2	遠隔授業で作る、遠隔授業の見方動画～ 3回生ゼミで幼児、児童を対象として ～	池田 修(発達教育学部児童教育学科)
3	幼稚園における保育内容と園環境の工夫に関する研究－健康領域(運動遊び)の取り組みを通して－	口野 隆史(発達教育学部児童教育学科) 他1名
4	昭和10年代の日本人作曲家における民族性―菅原明朗《明石海峡》をめぐる―	佐野 仁美(発達教育学部児童教育学科)
5	日本語教育での新聞読者欄への投稿活動におけるゲーミフィケーション要素の検討	千々岩 宏晃(発達教育学部児童教育学科)
6	小学校における比例のグラフ読解に関する研究－変量の線分化の視点から－	西村 徳寿(発達教育学部児童教育学科)
7	PDCAサイクルによる実習の事前事後指導―大学と施設の実習意見交換会をC(Check)に位置付けて―	吉田 裕子(発達教育学部児童教育学科) 他1名
8	国際会計研究における現在の研究動向―IFRS関連論文の包括的レビュー―	真田 正次(現代ビジネス学部経営学科)
9	中間授業アンケートから考える遠隔授業改善	西野 毅朗(現代ビジネス学部経営学科)
10	模擬患者演習での問診における看護学部1年生のコミュニケーションの工夫と学び	岩崎 真子(看護学部看護学科) 他3名
11	フィンランドのネウボラにおける母子保健活動と保健師、助産師の教育プログラム	神崎 光子(看護学部看護学科)
12	日本におけるコミュニティ・レジリエンスに関する文献検討	黒瀧 安紀子(看護学部看護学科) 他1名
13	子育て期の親におけるワークライフバランス及びワークファミリーバランスに関する文献検討―促進要因と阻害要因に着目して―	下田 優子(看護学部看護学科) 他1名
14	新卒看護職者や看護学生を支援する教育指導者の育成プログラムに関する成果と課題	中橋 苗代(看護学部看護学科) 他3名
15	医療的ケアが必要な子どもの養育に対する家族の認識の特徴と因子構造―入院中から家庭で生活する時期に焦点を当てて―	奈良間 美保(看護学部看護学科) 他6名
16	命令的規範が利他的および利己的な不正行為の抑制に及ぼす影響	前田 洋光(健康科学部心理学科) 他1名
17	介護保険要支援者に対する「作業中心プログラム」と「運動中心プログラム」の効果の比較研究	近藤 敏(健康科学部作業療法学科) 他2名
18	救急救命学科における臨床推論とディスカッションを重視した学生主導の教育プログラムについての検討	黒崎 久訓(健康科学部救急救命学科) 他3名

京都橋大学 研究紀要 第46号(2019年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	二葉亭四迷『浮雲』におけるダ体の概念	安達 太郎(文学部日本語日本文学科)
2	エドワード・ヤング「創作覚書」(翻訳と解題)	大久保 友博(国際英語学部国際英語学科)
3	Promoting Learner Autonomy as Best Practice Pedagogy – An Exploratory Factor Analysis of an Active Learning Method –	Alan Mulvey(国際英語学部国際英語学科)
4	The Use of Collaborative Learning and Testing in English Language Classes for Students Intending to Study Abroad	Meg Ellis(国際英語学部国際英語学科) 他1名
5	教授内容の選択・編成・決定・学習指導における教師の権限に関する試論	佐藤 年明(発達教育学部児童教育学科)
6	京都橋大学看護学部卒業生の動向ならびに意識調査	西野 毅朗(現代ビジネス学部経営学科) 他2名
7	看護におけるclinical reasoningの概念分析	岡田 純子(看護学部看護学科)
8	フィジカルアセスメント演習における看護学部1年生の学び―地域住民教育ボランティアとの関わりを通して―	梶谷 佳子(看護学部看護学科) 他3名
9	発達障害のある看護学生に対する教育上の困難と支援に関する文献検討―メタ統合を参考にした分析による検討―	川村 晃右(看護学部看護学科) 他2名
10	夫婦のみ高齢世帯におけるソーシャル・キャピタル醸成のための予備的調査―夫婦のソーシャル・キャピタルの特性での区分による身体活動状況、閉じこもり傾向、抑うつ傾向の比較―	竹中 友希(看護学部看護学科) 他8名
11	薬物使用障害を有する女性への支援に関する文献検討	十倉 絵美(看護学部看護学科) 他3名

京都橋大学 研究紀要 第45号(2018年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	「言」と「文」の距離―坪内逍遙の場合―	安達 太郎(文学部日本語日本文学科)
2	アレグザンダー・ポープ「サンズの幽霊」(翻訳と解題)	大久保 友博(国際英語学部国際英語学科)
3	Laughter and Learning	Alan Mulvey(国際英語学部国際英語学科)
4	教育現場で使える“声づくり”(1)―大学生に「自然で無理のない声」を体得させる試み―	阿部 真子(発達教育学部児童教育学科)

5	1937年パリ国際博覧会をめぐるフランスの文化政策	大久保 恭子(発達教育学部児童教育学科)	
6	オノマトペを用いたリズム創作の可能性―協働性に着目して―	佐野 仁美(発達教育学部児童教育学科)	他1名
7	ポリシーに基づく縦断的統合型科目ルーブリックを用いた看護学実習評価の改善過程	西野 毅朗(現代ビジネス学部経営学科)	他3名
8	本学看護学生の学士課程教育におけるコアコンピテンシーの到達度に関する調査	伊藤 弘子(看護学部看護学科)	他3名
9	看護学部3回生の捉える看護における倫理的課題と倫理的判断	岩崎 真子(看護学部看護学科)	他1名
10	妊娠高血圧症候群褥婦の産後3か月までの血圧変動と関連要因	遠藤 俊子(看護学部看護学科)	他7名
11	精神科閉鎖病棟における禁煙支援の現状に関する文献検討	川村 晃右(看護学部看護学科)	他4名
12	学内演習におけるラーニングアシスタント活用に対する受講生の認識	中橋 苗代(看護学部看護学科)	他1名
13	助産師を対象とした母体急変に関するシミュレーション教育の試み―卒後教育としての「たばなSIM」活動報告―	兵藤 絵美(看護学部看護学科)	他6名
14	高校教諭の“性に関する教育”への思い・意識に関する文献検討	前田 絢子(看護学部看護学科)	他2名
15	Philosophical perspectives on the care of elderly people from the viewpoint of advanced practice nurses in Japan	深山 つかさ(看護学部看護学科)	他5名
16	助産技術学における模擬患者演習の教育効果―3年間の実施から―	宗 由里子(看護学部看護学科)	他7名

京都橘大学 研究紀要 第44号(2017年度)

掲載順	タイトル	執筆者名	
1	金融危機以降のエマージング諸国を中心とするマネーフローの特徴と課題	佐久間 浩司(国際英語学部国際英語学科)	
2	サミュエル・ジョンソン「翻訳史」(翻訳と解題)	大久保 友博(国際英語学部国際英語学科)	
3	表現領域における指導力育成につながるオペレッタ体験の有用性と展望	阿部 真子(発達教育学部児童教育学科)	
4	大戦間期から第二次世界大戦期におけるマティスの批評的位置付けをめぐる考察	大久保 恭子(発達教育学部児童教育学科)	
5	大学生の異文化認識の変容を促すタイ・スタディツアーの効果を考える	倉持 祐二(発達教育学部児童教育学科)	他2名
6	戦後日本の小学校における音楽創作活動の変遷―教科書の分析を通して―	佐野 仁美(発達教育学部児童教育学科)	
7	高等教育開発におけるミドル・アップダウン・アプローチの実証的研究(1)	西野 毅朗(現代ビジネス学部経営学科)	
8	臨床における教育担当看護師が教育的役割において発揮するメタ認知	岡田 純子(看護学部看護学科)	他2名

9	母親の月経に対する態度・意識・行動と思春期女子への母親による家庭内月経教育の実際	工藤 里香(看護学部看護学科)	他1名
10	早期産児を取り巻くNICUの環境音	中島 登美子(看護学部看護学科)	他2名
11	外国出生者における結核診断時の病態および発見経路の特徴	南 朗子(看護学部看護学科)	
12	第三期国定読本における書簡文	佐野 裕子(発達教育学部児童教育学科)	

京都橘大学 研究紀要 第43号(2016年度)

掲載順	タイトル	執筆者名	
1	ダ体の意味―山田美妙のダ体作品を中心に―	安達 太郎(文学部日本語日本文学科)	
2	フレーベルの「庭造り」(Gartenpflege)から見る幼児期における栽培の意味	青木 美智子(人間発達学部児童教育学科)	
3	亡命するタンゴ〜 Kult・ヴァイルからのメッセージ(2)	阿部 真子(人間発達学部児童教育学科)	
4	ヴィゴツキーと内言の意味論―フレデリック・ポランとの交差において―	神谷 栄司(人間発達学部児童教育学科)	
5	発達段階に伴う子どもの運動の理解に関する研究―上手な動きと下手な動きの絵を選択する調査を通して―	口野 隆史(人間発達学部児童教育学科)	
6	「食べ物教材」を使った小学校社会科・生活科の実践の変遷	倉持 祐二(人間発達学部児童教育学科)	
7	日本語初中級教材の分析―エッセイ・物語の改編のパターンの場合―	佐野 裕子(人間発達学部児童教育学科)	
8	日本の液晶テレビ市場における市場変容プロセスに関する考察	今井 まりな(現代ビジネス学部経営学科)	
9	現代米国における医療提供体制の改革―アカウンタブル・ケア組織とセーフティネット・プロバイダーを中心に―	高山 一夫(現代ビジネス学部経営学科)	
10	妊娠高血圧症候群妊産婦の血圧変動と看護への示唆	遠藤 俊子(看護学部看護学科)	他6名
11	看護学生におけるストレス―とコーピングの関連性の検討	西村 美八(看護学部看護学科)	他5名
12	業務拡大した介護福祉士及び看護師の政策決定に影響した要因	野村 陽子(岩手医科大学医歯薬総合研究所看護・政策研究部門教授・元本学看護学部看護学科教授)	
13	山科区高齢者のニーズに合わせた活動プログラム開発の予備的検討	松本 賢哉(看護学部看護学科)	他5名
14	緊急入院となった後期高齢者患者が抱く治療方針の決定についての思い	深山 つかさ(看護学部看護学科)	
15	自己志向的完全主義と家族関係認知との関連	中川 明仁(健康科学部心理学科)	
16	パッケージカラーが商品イメージおよび購買意欲に及ぼす影響:チョコレートのパッケージを題材として	前田 洋光(健康科学部心理学科)	他5名
17	調査報告 本学所蔵「北野社宮仕沙汰承仕家資料」所収の中近世文書について(一)	尾下 成敏(文学部歴史学科)	

京都橘大学 研究紀要 第42号(2015年度)

掲載順	タイトル	執筆者名	
1	亡命するタンゴ ～ Kult・ヴァイルからのメッセージ(1)	阿部 真子(人間発達学部児童教育学科)	
2	連続型テキストの読解を、非連続型テキストの表現から導く指導に関する一考察 ～二回生ゼミ、京歌留多の取り札作成を通して～	池田 修(人間発達学部児童教育学科)	
3	市民の数学的リテラシーをどのように育むか～心理学科通信教育課程での「生活の中の数字」の試み～	小寺 隆幸(人間発達学部児童教育学科)	
4	日本語初中級読解教材の分析―説明文の改変のパターンの場合―	佐野 裕子(人間発達学部児童教育学科)	
5	0歳児保育において連絡帳で何がかかわれているのか―連絡帳の意義・再考に向けた探索的研究―	森本 美絵(人間発達学部児童教育学科)	他1名
6	グローバル人材論と権利としてのキャリア教育	井ノ口 貴史(人間発達学部英語コミュニケーション学科)	
7	経営学におけるカテゴリ研究の可能性:コモディティ化プロセスの理解との関わりで	今井 まりな(現代ビジネス学部経営学科)	
8	看護研究支援[ベーシックコース]の学習プログラムの改善にむけた受講者の学習内容の理解度の検討	阿部 祝子(看護学部看護学科)	他1名
9	集中治療室に勤務する新人看護師の看護実践能力の獲得に資する学習活動	奥野 信行(看護学部看護学科)	他2名
10	臨地実習における看護学生の看護技術の経験状況と到達度 一実践看護学実習Ⅲを終了した本学看護学部3回生への調査から―	中橋 苗代(看護学部看護学科)	他1名
11	他者の期待に応えようとする動機の規定因:内集団に対する主観的理解の効果に着目した研究	塩谷 尚正(健康科学部心理学科)	
12	虚弱高齢者に対する伸張(エロンゲーション)トレーニングの効果について	宮崎 純弥(健康科学部理学療法学科)	
13	十七世紀山科の住人高山八右衛門と高山市郎左衛門について	尾下 成敏(文学部歴史学科)	
14	本能寺の変直後までの吉田兼和の生き方と交友関係―特に明智光秀、細川藤孝とのつながりを軸に―	田端 泰子(京都橘大学名誉教授)	

京都橘大学 研究紀要 第41号(2014年度)

2	島崎藤村の南米行―「国民外交」の視点から―	酒井 一臣(文学部歴史学科)
3	保育内容「領域 環境」における「文字への関心」を育む授業 ―“MOJIKARA体操”による豊かな漢字表現の試み―	青木 美智子(人間発達学部児童教育学科) 他1名
4	指導改善研修から「教員問題」を考察する	芦名 猛夫(人間発達学部児童教育学科)
5	19～20世紀転換期のヨーロッパにおける「タンゴ」があらわすもの	阿部 真子(人間発達学部児童教育学科)
6	幼児期における自我の意味について ―ヴィゴツキー理論の哲学的基礎からの照明―	神谷 栄司(人間発達学部児童教育学科)
7	庄内・本楯の循環型農業を教材化する	倉持 祐二(人間発達学部児童教育学科)
8	初期のフランス派作曲家菅原明朗と永井荷風 ―2つの歌曲《さすらひ》《口ずさみ》をめぐって―	佐野 仁美(人間発達学部児童教育学科)
9	「コトカラ」構文に関する考察	佐野 裕子(人間発達学部児童教育学科)
10	老いと死の「錬金術」―イェイツとゲーテ―	浅井 雅志(人間発達学部英語コミュニケーション学科)
11	アクティブ・ラーニングの導入とその実践的課題 ―『香りつぶくりむ』の研究開発を例に―	木下 達文(現代ビジネス学部都市環境デザイン学科)
12	日本における戦後アメリカの建築に関する研究の状況 ―日本建築学会・計画系歴史意匠分野の論文を中心に―	河野 良平(現代ビジネス学部都市環境デザイン学科)
13	歴史的建築様式を用いて現代住宅をデザインする方法論の研究	竹山 清明(現代ビジネス学部都市環境デザイン学科)
14	新規入院患者数を考慮した病棟看護師の配置数決定に関する検討	阿部 祝子(看護学部看護学科) 他1名
15	プライマリケア実習で取り組む体力測定・健康教育に関する参加高齢者からみた 評価	小野塚 元子(看護学部看護学科) 他4名
16	新人助産師の助産実践能力の日豪実態調査	常田 裕子(看護学部看護学科) 他3名
17	日本と中国における認知症高齢者の家族介護者のストレスマネジメントについての検討―ストレスマネジメントスタイルと介護負担感の関係―	深山 つかさ(看護学部看護学科) 他2名
21	彙報―2013年度共同研究助成費:研究活動報告	甲斐 義浩(健康科学部理学療法学科)

京都橘大学 研究紀要 第40号(2013年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	The Age-Related Morphological Changes in the Capillary Architecture of the Peripheral Nerve in Rats	崎田 正博(健康科学部理学療法学科)
2	ヴィゴツキー理論における自己意識と概念的思考の問題 ―ヘーゲル『精神現象学』に照らして―	神谷 栄司(人間発達学部児童教育学科)
3	広い園庭と狭い園庭で遊ぶ幼児の鬼ごっこの理解について ―幼児へのインタビュー内容(知識・認識)を比較して―	口野 隆史(人間発達学部児童教育学科)
4	昭和初期の日本人作曲家と新日本音楽―菅原明朗と宮城道雄―	佐野 仁美(人間発達学部児童教育学科)
5	滋賀県の里親支援体制の現状とその実際 ―2009年度～2012年度の調査から―	森本 美絵(人間発達学部児童教育学科) 他1名
6	「フクシマ」後の原発学習の実践と課題	井ノ口 貴史(人間発達学部英語コミュニケーション学科)
7	音読と第二言語習得	弥永 啓子(人間発達学部英語コミュニケーション学科)
8	シミュレーション教育に参加した卒業生の学びの内容	阿部 祝子(看護学部看護学科) 他13名
9	学生の血圧測定技術の獲得体験の実態	梶谷 佳子(看護学部看護学科) 他1名
10	心理学における動物研究の意義	坂本 敏郎(健康科学部心理学科)
11	木村蒨葎堂の交際圏―『蒨葎堂日記』に見える武士に着目して(一)―	有坂 道子(文学部歴史遺産学科)
12	丘美丈二郎―『地球防衛軍』『妖星ゴラス』の探偵・SF作家―	細川 涼一(文学部歴史学科)
13	最勝光院とその所領備中国新見荘の領有権の変遷 ―建春門院と宣陽門院の役割―	田端 泰子(京都橘大学名誉)

京都橘大学 研究紀要 第39号(2012年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	〈研究ノート〉天正期豊臣政権下の小早川氏と肥前諸領主	尾下 成敏(文学部歴史学科)
2	「臨床の知」から教育を見直す	滝野 功久(健康科学部心理学科)
3	新卒看護師の看護実践コミュニティへの参加過程における学びの経験 ―正統的周辺参加論の視点によるエスノグラフィック・ケーススタディー―	奥野 信行(看護学部看護学科)

4	RC造階段室型公営住宅における住まい方の実態	松本 正富(現代ビジネス学部都市環境デザイン学科)
5	後発自動車メーカーのグローバル組織能力構築 ―現代自動車グループの事例―	李 在鎬(現代ビジネス学部現代マネジメント学科)
6	読解の授業における語彙指導 ―最新の第二言語語彙習得の実証研究に基づく考案―	弥永 啓子(人間発達学部英語コミュニケーション学科)
7	滋賀県の里親会の現状と課題―市郡里親会の実態調査を踏まえて―	森本 美絵(人間発達学部児童教育学科)
8	障害児保育における巡回相談の歴史と今後の課題	三山 岳(人間発達学部児童教育学科)
9	初期の日本人作曲家における近代フランス音楽受容 ―菅原明朗とオルケストラ・シンフォニカ・タケキをめぐって―	佐野 仁美(人間発達学部児童教育学科)
10	ヒーリー学級実践における“学び論”	上中 良子(人間発達学部児童教育学科)
11	即時口頭指導に関する一考察 ―『こんな時どう言い返す』を手がかりとして―	池田 修(人間発達学部児童教育学科)
12	「大東亜共栄圏」研究の一視角 共時性としての西洋	酒井 一臣(文学部歴史学科)
13	動作範囲の拡張	宮島 達夫(京都橋大学名誉教授)
15	彙報―2011年度共同研究助成費:研究活動報告	遠藤 俊子(看護学部看護学科)
16	彙報―2011年度共同研究助成費:研究活動報告	安田 康晴(現代ビジネス学部現代マネジメント学科)
17	彙報―2011年度共同研究助成費:研究活動報告	有坂 道子(文学部歴史遺産学科)
18	彙報―2011年度共同研究助成費:研究活動報告	南 直人(文学部歴史学科)

京都橋大学 研究紀要 第38号(2011年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	〈書評〉ケネス・ルオフ著『紀元二千六百年 消費と観光のナショナリズム』	酒井 一臣(文学部歴史学科)
2	西安碑林博物館・唐景龍観鐘銘文をめぐる一考察	王 衛明(文学部文化財学科)
3	吉村順三の「御蔵山の家」における増築の手法について ― 実施設計図からみる意匠的側面を中心とした研究 ―	河野 良平(現代ビジネス学部都市環境デザイン学科)
4	中国鐘の鋳型分割の変化	五十川 伸矢(現代ビジネス学部都市環境デザイン学科)
7	ソローキンとパー ソンズ ―「文化システム」概念をめぐって―	大野 道邦(現代ビジネス学部現代マネジメント学科)
8	国際的合意形成にみる教育機会均等原則の新たな展開	八木 英二(人間発達学部児童教育学科)
9	ある委託児童(里子)の成長過程の具体像と里親養育へ社会的支援の在り方 ― 継続的なインタビューによる里母の語りをとおして―	森本 美絵(人間発達学部児童教育学科)
10	命令・意志を表す名詞文についての覚書	中崎 崇(人間発達学部児童教育学科)
11	ジャン・ピアジェのヴィゴツキー理解について、あるいは、コメンテール のコメンテール	神谷 栄司(人間発達学部児童教育学科)
12	《「表現」…それは、誰のもの?》― 学習指導要領に繰り返し強調される「造形あそび」をきっかけとした考察―	上中 良子(人間発達学部児童教育学科)
13	彙報― 2010年度 共同研究費:研究活動報告	織田 直文(現代ビジネス学部都市環境デザイン学科)

京都橋大学 研究紀要 第37号(2010年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	フランス語語彙史の計量的調査	宮島 達夫(京都橋大学名誉教授)
2	心理学と心理機能局在論 エリ・エス・ヴィゴツキー	神谷 栄司(訳)(人間発達学部児童教育学科)
3	終助詞「ね」の機能	中崎 崇(人間発達学部児童教育学科)
5	「歴女」の文化遺産観光	金武 創(現代ビジネス学部都市環境デザイン学科)
6	まち育てにおける〈「全協働」システム〉の開発 ―山科魅力発見プロジェクトと冊子『京都・山科 東西南北』の事例等を通して―	木下 達文(現代ビジネス学部都市環境デザイン学科)
7	アダム・スミスの模倣芸術論:芸術の価値分析序説	中谷 武雄(現代ビジネス学部都市環境デザイン学科)
8	高齢・過疎地域の訪問看護ステーションにおける災害時要援護者対策の活動評価 ―事例検討を中心に―	河原 宣子(看護学部看護学科)
9	彙報―2009年度共同研究費:研究活動報告	横田 冬彦(文学部歴史学科)
10	彙報―2009年度共同研究費:研究活動報告	織田 直文(現代ビジネス学部都市環境デザイン学科)

京都橋大学 研究紀要 第36号(2009年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
-----	------	------

1	Devolution and the Modern Scottish Poem — Part One: Introduction, Political Background and Home Rule between 1880 and 1914	アンガス・ノーマン(文学部英語コミュニケーション学科)
2	Individual and social distinctions in second and foreign language learner autonomy pedagogy and research: a discursive history	小川 享子(言語教育センター)
3	Applying Leadership Models to Contemporary Leadership Issues	コリン・デイル(言語教育センター)
4	英単語親密度を利用した語彙力診断テストの有効性の検証 —大学における日本人初～中級英語学習者の受容語彙習得レベルのより良い記述を目指して—	弥永 啓子(言語教育センター)

5	英語語彙史の計量的調査	宮島 達夫(京都橋大学名誉教授)
6	終助詞「とも」の機能	中崎 崇(言語教育センター)
7	大戦直後の教育における国際的合意形成と特別なニーズ教育	八木 英二(文学部児童教育学科)
8	ソローキン再訪—文化社会学の巨人—	大野 道邦(現代ビジネス学部現代マネジメント学科)
9	人の開閉行動における取っ手の視覚情報について	西山 紀子(現代ビジネス学部都市環境デザイン学科)
10	臨床看護師の看護学実習環境に関する意識調査	梶谷 佳子(看護学部看護学科)
11	彙報—2008年度共同研究費: 研究報告	横田 冬彦(文学部歴史学科)

京都橋大学 研究紀要 第35号(2008年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	『参天台五臺山記』訳註稿(5)	衣川 強(文学部歴史学科)
2	織田作之助と千日前大阪劇場裏の少女怪死事件 —「世相」「神経」の一背景—	細川 涼一(文学部歴史学科)
3	ドイツにおける食品監視体制の成立と近代的食システムへの道	南 直人(文学部歴史学科)
4	中国古代絵画史籍に見る日本書画収蔵と鑑賞の記録	王 衛明(文学部文化財学科)
5	緩和ケアにおけるアメニティの実証研究 —看護師への質問紙調査から—	岡本 哲弥(現代ビジネス学部現代マネジメント学科)
6	戸の開閉行動と取っ手のデザインとの関連性について	西山 紀子(現代ビジネス学部都市環境デザイン学科)
7	前川國男の「京都会館」における設計手法について	河野 良平(現代ビジネス学部都市環境デザイン学科)
8	「SOS子どもの村」にみる「おかあさん」 職員へのサポート体制	森本 美絵(文学部児童教育学科)
11	A Comparison of L1 and L2 Glossing Influences on Unfamiliar L2 Vocabulary Incidental Learning	小川 享子(言語教育センター)
12	Two Types of Utterance and Deviation from the Norm — Another Facet of the Speaker in a Speaker-Interlocutor Relationship —	北林 利治(文学部英語コミュニケーション学科)
13	To Know, or To Be, That is the Question: D. H. Lawrence's “Blood Consciousness” and “Mental Consciousness” Reconsidered	浅井 雅志(文学部英語コミュニケーション学科)

京都橋大学 研究紀要 第34号(2007年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	敦煌莫高窟における女性供養者図像に関する考察(1) —女性供養者題記の再検討を通して—	王 衛明(文学部文化財学科)
2	『参天台五臺山記』訳註稿(3)	衣川 強(文学部歴史学科)
3	米国非営利病院の公益性に関する考察(1) —コミュニティー・ベネフィット基準をめぐる政策論争を中心に—	高山 一夫(文化政策学部現代マネジメント学科)
4	住民参加による地域資源再評価活動 —『写真集・モノクロームヤマシナ』の企画・制作活動とその評価—	木下 達文(文化政策学部現代マネジメント学科)
5	スウェーデンから —北欧の日本研究と、スウェーデンの両親休暇—	河原 和枝(文化政策学部現代マネジメント学科)
6	教育について深く考え始めた学生たち —「教職入門」の授業の意義と課題—	小寺 隆幸(文学部児童教育学科)
7	教育実習で育てる実践的指導力の基盤を考える —奈良教育大学における教育実習を例にして—	倉持 祐二(文学部児童教育学科)
8	美術表現における「学力」考察 —“表現力”を身につけるとは？—	上中 良子(文学部児童教育学科)
9	短期留学生による実践のコミュニティの組織化	塩入 すみ(言語教育センター)
10	English Education from Elementary School in Japan:The Vital Role that Universities can Play	鈴木 規巳洋(言語教育センター)
11	Two Modes of Visual Expressions: A Comparative Study of English and Japanese	北林 利治(文学部英語コミュニケーション学科)

京都橋大学 研究紀要 第33号(2006年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	唐裴孝源撰『貞観公私画録』考	王 衛明(文学部文化財学科)
2	大庭武年雑記 —旧満州大連の探偵作家—	細川 涼一(文学部歴史学科)
3	初代中村富十郎、二代目嵐三五郎が演じた夕霧劇	林 久美子(文学部日本語日本文学科)
4	『参天台五臺山記』訳註稿(3)	衣川 強(文学部歴史学科)

5	イギリス留学発見の旅ーD・Hロレンス、アラン・シリトー、パイロン、パット・マクグラスー	杉山 泰(文化政策学部文化政策学科)
6	文化遺産観光のストックとフローー三内丸山遺跡を事例としてー	金武 創(文化政策学部文化政策学科)
7	どうい英語を教えるかー英語・地域英語・国際英語ー“能力試験として’06新TOEICの大学教育での新たな視点”	鈴木 規巳洋(言語教育センター)
8	留学生のアイデンティティ確立の過程ー台湾人短期留学生の事例からー	塩入 すみ(言語教育センター)
9	大学生の英語学習動機因子の因果関係を探るーリスニングを対象とした予備調査の分析からー	弥永 啓子(言語教育センター)
10	小売りにおける情報化と卸売企業の関与による効果ー大衆医薬品小売企業のアンケート調査からー	岡本 哲弥(文化政策学部現代マネジメント学科)
11	メディア・文化・社会ー「歌舞伎」ドラマをめぐるー	大野 道邦(文化政策学部現代マネジメント学科)
12	Traditions That Sustain and Forster The Jesus Movement	Richard Bonang(文学部英語コミュニケーション学科)
15	彙報ー2005年度 京都橋大学共同研究費:研究報告	近藤 文男(文化政策学部現代マネジメント学科)
16	彙報ー2005年度 京都橋大学共同研究費:研究報告	中谷 武雄(文化政策学部文化政策学科)
17	彙報ー2005年度 京都橋大学共同研究費:研究報告	南 直人(文学部歴史学科)

京都橋大学 研究紀要 第32号(2005年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	鎌倉期・室町初期の山内氏と一族一揆ー国人領主の迎えた南北朝内乱ー	田端 泰子(文学部歴史学科)
2	博興龍華寺址出土北朝金銅仏造像に関する考察	王 衛明(文学部文化財学科)
3	文化行政から文化行政の経営へー文化行政サービスの民営化の動向ー	渡部 蒔(文化政策学部現代マネジメント学科)
4	『参天台五臺山記』訳註稿(2)	衣川 強(文学部歴史学科)
5	調査報告:比較社会史研究に関わる中国雲南省および西域調査について	横田 冬彦(文学部歴史学科)
6	視覚情報メディアとしての「地図」(2)ー「Let's Walk やましな ホップ・ステップ・マップ」企画・制作における市民参加型地域資源再評価活動とその効果ー	木下 達文(文化政策学部現代マネジメント学科)
8	アルビン・トフラーの「文化産業」論	中谷 武雄(文化政策学部文化政策学科)
9	シラバスを中心に据えた学習指導のストラテジーの試みと評価ー教師主体のクラスメソッドが及ぼす学生主体のクラスアプローチー	鈴木 規巳洋(言語教育センター助)
10	ALC NetAcademyの効果的利用に関する考察	弥永 啓子(言語教育センター)
11	Appearance of the Speaker in Discourse	北林 利治(文学部英語コミュニケーション学科)
12	「自発性」という名のカルトーロレンスとオカルトー	浅井 雅志(文学部英語コミュニケーション学科)
13	13. 彙報ー2004年度 京都橋女子大学学術奨励研究費:研究報告	
14	14. 彙報ー2004年度 京都橋女子大学共同研究費:研究報告	他3名

京都橋女子大学 研究紀要 第31号(2004年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	追い詰められる日本語ー日本人の言語意識とアイデンティティ	浅井 雅志(文学部英語コミュニケーション学科)
2	『参天台五臺山記』訳註稿(1)	衣川 強(文学部歴史学科)
4	エルミターージュ美術館所蔵のコズロフコレクションーカラ・ホト城出土の中国陶磁器を中心にー	弓場 紀知(文学部文化財学科)
5	[教育実践報告]経済学教育における3つの試み	小森 治夫(文化政策学部文化政策学科)
6	【創発】都市論ー未知を恐れない「まちづかい」へー文化政策の基礎問題とアーツ系課題のいくつか、神戸市での議論をもとにー	小暮 宣雄(文化政策学部文化政策学科)
7	道具名詞の連語論	宮島 達夫(京都橋大学名誉教授)
8	疑問文における反語解釈をめぐる覚え書き	安達 太郎(文学部日本語日本文学科)
9	A Continuum of Expressions on the Tripartite Levels of English Grammar	北林 利治(文学部英語コミュニケーション学科)
10	大学研究彙報ー2003年度 京都橋女子大学共同研究報告ー	

京都橋女子大学 研究紀要 第30号(2003年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
2	久山秀子・一条栄子覚え書きー日本最初の「女性」探偵作家ー	細川 涼一(文学部歴史学科)

3	調査報告・中国福建省(厦門・泉州・福州)を廻って	横田 冬彦(文学部歴史学科)	他3名
4	古代中国仏教寺院における堂内造像の配置 ―近年寺院址出土の新資料を手がかりとして―	王 衛明(文学部文化財学科)	

5	文化芸術と法律－立法論的観点から－	渡部 蒔(文化政策学部文化政策学科)
6	[教育実践報告]ビデオ活用型講義の試み	小森 治夫(文化政策学部文化政策学科)
7	英語作品の用語の類似度	宮島 達夫(京都橋大学名誉教授)
8	The Art of Masochism	Nina Langton(本学客員教授／カナダ・オカナガン大学) (本学との教員交換交流により着任)
9	意味の奪還－D・H・ロレンスとC・G・ユングの他者表象－	浅井 雅志(文学部英語コミュニケーション学科)
10	大学研究彙報－2002年度 京都橋女子大学共同研究報告－	

京都橋女子大学 研究紀要 第29号(2002年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	意識と宿命－小林秀雄「様々な意匠」－	野村 幸一郎(文学部日本語日本文学科)
3	視覚情報メディアとしての「地図」－「京都市山科区ガイドマップ」における市民参加型企画・制作システムとその効果－	木下 達文(文化政策学部文化政策学科)
4	地域文化産業としての温泉観光	金武 創(文化政策学部文化政策学科)
5	総裁政府期フランスにおける貿易拡大政策の方向転換	服部 春彦(文学部歴史学科)
6	Pampas Grass: A Case Study in Translation	Richard Bonang(文学部英語コミュニケーション学科)
7	原因と結果の表現における《話し手》の3つの側面	北林 利治(文学部英語コミュニケーション学科)
8	大学研究彙報－2001年度 京都橋女子大学共同研究報告－	

京都橋女子大学 研究紀要 第28号(2001年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	小林秀雄の私小説批評－日本資本主義論争との接点－	野村 幸一郎(文学部日本語日本文学科)
2	京都町家の子供たち－関連語彙からみる－	寺島 浩子(文学部日本語日本文学科)
3	独往性幽撰「本師隠公大和尚伝賛」について	小野 和子(文学部歴史学科)
4	生駒家と座頭・贅女仲間	朝尾 直弘(文学部文化財学科)
5	唐李嗣真撰『續画品録』考	王 衛明(文学部文化財学科)
7	公共政策論の現代的課題における「ボーマルの病」の意義	阪本 崇(文化政策学部文化政策学科)
8	文化経済学教育における個性開発システム	池上 惇(文化政策学部文化政策学科)
9	The Cause-Effect Relation and the Role of the Observer in English Grammar	北林 利治(文学部英語コミュニケーション学科)
10	Representing Others and Analyzing Oneself: Travel Writings of D. H. Lawrence and T.E.Lawrence	浅井 雅志(文学部英語コミュニケーション学科)
11	大学研究彙報－2000年度 京都橋女子大学共同研究報告－	

京都橋女子大学 研究紀要 第27号(2000年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	没落士族のナショナリズム－明治初期の政治小説－	野村 幸一郎(文学部日本語日本文学科)
2	徴兵忌避－泉川富蔵の場合－	植木 壽子(文学部歴史学科)
3	白猪屯倉の設置事情	狩野 久(文学部歴史学科)
4	生駒家の侍と中間(二)	朝尾 直弘(文学部文化財学科)
5	五代における西蜀寺観壁画に関する一考察(続篇)－范成大『成都古寺名筆記』訳註－	王 衛明(文学部文化財学科)
7	京都の日本語教育	宮島 達夫(文学部日本語日本文学科)
8	漢語サ変動詞における格助詞の使い分け	岡部 寛(文学部日本語日本文学科)
9	大学入門期教育の内容と方法の探求－一般教育における「現代社会と法」を素材にして－	梅本 裕(文学部英語コミュニケーション学科) 他1名
10	The Influence of Relationship and Proficiency on the Use of Foreigner Talk	森 節子(外国語教育研究センター)
11	Thomas Merton: A Modern Apophatic Contemplative	Richard Bonang(文学部英語コミュニケーション学科)
12	大学研究彙報－1999年度 京都橋女子大学共同研究報告－	

京都橘女子大学 研究紀要 第26号(1999年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	与謝野晶子の批評 ―ベルグソニズム受容を視座として―	野村 幸一郎(文学部国文学科)
3	生駒家の侍と中間	朝尾 直弘(文学部文化財学科)
4	五代における西蜀寺観壁画に関する一考察 ―成都大聖慈寺の絵画史料をめぐって―	王 衛明(文学部文化財学科)
5	'97アンケート調査にみられる全国公立博物館施設の現況と課題(自然史・総合・美術・歴史博物館について)	千地 万造(文学部文化財学科) 他3名
6	メフメトⅡ世の「ヤルリグ」―バシュケントの戦いに関する一史料―	小野 浩(文学部歴史学科)
7	格助詞の使い分け	岡部 寛(文学部国文学科)
8	時差通訳のストラテジーと言語認知	西村 友美(文学部英語英文学科)
9	ロレンス対プラトン	浅井 雅志(文学部英語英文学科)
10	Jesusesque Mysticism in the Synoptic Gospels	Richard Bonang(文学部英語英文学科)
11	大学研究彙報―1998年度共同研究報告―	

京都橘女子大学 研究紀要 第25号(1998年度)

1	上訴と功過	増淵 徹(文学部歴史学科)
2	青州龍興寺出土窖藏仏教造像初論 ―魏晋南北朝時期における山東仏教美術史的成立背景を中心に―	王 衛明(文学部文化財学科)
3	'97アンケート調査に見られる 全国公立博物館の現況と課題(その1 自然史博物館)	千地 万造(文学部文化財学科) 他3名
4	フランス革命と土地所有の社会的移動	服部 春彦(文学部歴史学科)
5	日本語とドイツ語の語彙史の比較(続)	宮島 達夫(文学部国文学科)
6	京都橘女子大学最終講義「読む」とはということか ―Ernest Hemingway, “Indian Camp” ―	永原 誠(元文学部英語英文学科)
7	JAPANESENESS: A CASE STUDY IN JAPANESE DISTINCTIVENESS	Richard Bonang(文学部英語英文学科)
8	大学研究彙報―1997年度共同研究報告―	

京都橘女子大学 研究紀要 第24号(1997年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
2	『VIKING』集団離脱	中尾 務(文学部国文学科)
3	匪賊・袁蝦九	蒲 豊彦(文学部国文学科)
4	ドイツ中世都市の東漸過程(下)	瀬原 義生(文学部歴史学科)
5	[史料紹介]明治天皇・昭憲皇太后の葬儀と旧山科郷土	後藤 靖(文学部歴史学科)
6	英語における場所と時間の表現 ―結合価文法における状況項と行為項の接点―	北林 利治(文学部英語英文学科)
7	大学における一般教養教育の意味についての研究ノート ―会話の作法と一般教養教育―	梅本 裕(文学部英語英文学科)
8	Random House版Adventures of Huckleberry Finnの“cadaver”挿話について ―Victor Doynoへの異論―	永原 誠(文学部英語英文学科)
9	大学研究彙報―1996年度共同研究報告―	

京都橘女子大学 研究紀要 第23号(1996年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	黙読の一般化 ―言語生活史の対照―	宮島 達夫(文学部国文学科)
3	中国南北朝時代の随葬衣物疏に見える副葬品について	浅見 直一郎(文学部歴史学科)
4	ドイツ中世都市の東漸過程(上)	瀬原 義生(文学部歴史学科)
5	ヨオゼフ追憶 その二十二	南 順三(文学部本学名誉教授)
6	英語における省略と境界性の概念	北林 利治(文学部英語英文学科)
7	本学学生の日常生活におけるストレスの現状とその解消方法について	松下 桂子(文学部国文学科) 他1名
8	SACRED SPACE AND THE SHIKOKU PILGRIMAGE	Richard Bonang(文学部英語英文学科)
9	大学研究彙報―1996年度共同研究報告―	

京都橘女子大学 研究紀要 第22号(1995年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	『夜の寝覚』『浜松中納言物語』の作者の関心 ―「姉妹」の宿命―	鈴木 紀子(文学部国文学科)
2	近松秋江生家 ―本家徳永家との関係からの一考察―	中尾 務(文学部国文学科)
3	自由党系新聞の帝国憲法論(二)	後藤 靖(文学部歴史学科)
4	ヨオゼフ追憶 その二十一	南 順三(文学部本学名誉教授)
6	ロビン・パロウの『カリキュラム理論批判序説』―解説と翻訳―	梅本 裕(文学部英語英文学科)
7	世紀転換期イギリスにおけるヘルス・ヴィジティングの転換と保健医官	松浦 京子(文学部歴史学科)
8	ジョン・アーヴィング『ホテル・ニューハンプシャー』におけるレイプ問題 ―ヴィクティムからサヴァイヴァーへ―	鎌田 明子(文学部英語英文学科)
9	Mizuko Jizô and Nonborns: An Example of Contemporary Japanese Religious Practice	Richard Bonang(文学部英語英文学科)
10	大学研究彙報―1995年度共同研究報告―	

京都橘女子大学 研究紀要 第21号(1994年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	沢柳事件始末	松尾 尊允(文学部歴史学科)
2	宮沢賢治『注文の多い料理店』私解 ―童話集『注文の多い料理店』研究(二)	萬田 務(文学部国文学科)
3	本朝法華験記の語彙と表記 ―靈験記・往生伝の文体をめぐって(一)―	藤井 俊博(文学部国文学科)
4	ヨオゼフ追憶 その二十	南 順三(文学部本学名誉教授)
5	競争原理の哲学的考察	碓井 敏正(文学部歴史学科)
7	ジョン・アーヴィングの『ガープの世界』では… ―犯罪としてのレイプ問題―	鎌田 明子(文学部英語英文学科)
8	ブライアン・フリールの劇的手法・続	平田 康(文学部英語英文学科)
9	マーク・トウェイン『コネチカット・ヤンキー』書出しの一章 ―「道化」としてのハंकをめぐって―	永原 誠(文学部英語英文学科)
10	Elliptical Phenomena in English	北林 利治(文学部英語英文学科)
11	Group Identity in Japanese Interpersonal Communication	Richard Bonang(文学部英語英文学科)
12	大学研究彙報―1994年度共同研究報―	

京都橘女子大学 研究紀要 第20号(1993年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	近松秋江生家の外縁(二)	中尾 務
2	京都町家におけるあいさつ表現 ―年代差に着目して、その二―	寺島 浩子
3	自由党系新聞の帝国憲法論(一)	後藤 靖
4	近世畿内の幕府広域役 ―大坂城・蔵修復役を中心に―	村田 路人
5	ヨオゼフ追憶 その十九	南 順三
7	再認記憶における自己選択効果と学習材料の有意味度	高橋 雅延
8	「としえの天の力のもとに」―モンゴル時代発令文の冒頭定型句をめぐって―	小野 浩
9	ブライアン・フリールの劇的手法	平田 康
10	Nurturing a New Generation of Translators	Richard Bonang
11	大学研究彙報―1993年度共同研究報告―	

京都橘女子大学 研究紀要 第19号(1992年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	宮沢賢治「どんぐりと山猫」解析 ―童話集『注文の多い料理店』研究(1)	萬田 務
2	『浜松中納言物語』の乳母たち(二)	鈴木 紀子

3	謡曲「胡蝶」と虫類成仏	細川 涼一
4	中国の正史編纂－唐朝初期の編纂事業を中心に－	浅見 直一郎

6	1920年代広東の民団と農民自衛軍	蒲 豊彦
7	「ディルタイ・ルネサンス」への追記(その二)―「マックス・ヴェーバーの理論と歴史とのあいだを宥和する企て」によせて―	西山 勤二
8	ヨオゼフ追憶 その十八	南 順三
9	J. A. コメニウスにおける「アカデミア」(大学)構想	佐藤 令子
10	存在の充溢を求めて―D. H. ロレンスの教育論―	浅井 雅志
11	KAWABATA YASUNARI'S「ざくろ」AND「笹舟」A Study of Two English Translations	Richard Bonang
12	大学研究彙報―1992年度共同研究報告―	

京都橘女子大学 研究紀要 第18号(1991年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	近松秋江生家の外縁(一)	中尾 務
2	古代和文資料における翻訳語	藤井 俊博
3	南北朝内乱期における国人・土豪層の役割と女性の地位	田端 泰子
4	「ディルタイ・ルネサンス」への追記(その一)―「カール・ランプレヒト对新ランケ学派あるいは理論対歴史」によせて―	西山 勤二
6	ひらがな清音五文字名詞の熟知価について	藤田 哲也
7	今日の大学外国語カリキュラム改革の諸特徴	梅本 裕
8	Getting Real: The Use of Computer Networks in the ESL Classroom	Stephen R. Futscher
9	First & Second Century Gnostics	Richard Bonang
10	大学研究彙報―1991年度共同研究報告―	

京都橘女子大学 研究紀要 第17号(1990年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	宗鑑の「誹諧連歌」の性格について	井口 壽
2	「事限り無し」考	藤井 俊博
3	用聞の諸機能と近世的支配の特質	村田 路人
5	私学助成をめぐる問題	野川 照夫
6	ヨオゼフ追憶 その十六	南 順三
7	環境的文脈依存記憶研究の問題点	高橋 雅延
8	コメニウスにおける生涯教育の構想Ⅳ	佐藤 令子
9	『キターブ・バフリエ』ヒジュラ暦927年本系写本八種	新谷 英治
10	Doublespeak 'の語用論的考察	橋本 友子
11	Origin and Development of Christian Contemplation III	Richard Bonang
12	大学研究彙報―1990年度共同研究報告―	

京都橘女子大学 研究紀要 第16号(1989年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	大福光寺本『方丈記』の問題点	吉池 浩
3	静小論	細川 涼一
4	史料調査報告 矢島共有文書(滋賀県守山市)について	京都橘女子大学歴史学科日本史コース
5	ヨオゼフ追憶 その十五	南 順三
6	1930年代のベーシック・イングリッシュの受容について	梅本 裕
7	D・H・ロレンスと二冊の限定私家版	杉山 泰
8	Origin and Development of Christian Contemplation I & II	Richard Bonang

9	大学研究彙報－1989年度共同研究報告－	
---	----------------------	--

京都橘女子大学 研究紀要 第15号(1988年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	更級日記作者の映像	吉池 浩
2	ヨオゼフ追憶 その十四	南 順三
3	大正・昭和期の生活難と女性問題	小路田 泰直
4	インド思想史研究覚え書	荷葉 堅正
5	コンピュータによる英文処理と英語教育	中村 則之
6	カート・ヴォネガット『ジェイルバード』論 その二	鎌田 明子
7	Athol Fugard戯曲の秘密 その二	平田 康
8	ギッシングとイタリアの旅	内田 郁雄
9	Mysticism and Richard Rolle	Richard Bonang
10	大学研究彙報－1988年度共同研究報告－	

橘女子大学 研究紀要 第14号(1987年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	リチャード・バクスターとマーガレット・チャールトン－英国革命とある愛の記録－	越智 武臣
2	「伊勢物語」の問題点続稿－「ほい」にはあらで」を中心にして－	吉池 浩
3	兼載の俳諧	井口 壽
5	京言葉における待遇表現－町家の人間関係に関わる表現－	寺島 浩子
6	百姓一揆と「得物」	藪田 貫
7	『浜松中納言物語』－親子愛に見る特性－	鈴木 紀子
8	朝鮮における新幹会運動とコミンテルンの民族統一戦線論	水野 直樹
9	オーギーのなかのインセスト－長塚節『土』小見－	中尾 務
10	「都市計画」前夜	小路田 泰直
11	英国観劇雑記	平田 康
12	ヨオゼフ追憶 その十三	南 順三
13	カルロ・ギンズブルグ－イタリアの新しい歴史学の流れから－	山辺 規子
14	メイダーンとバーグ－シャー・アッバスの都市計画再考－	羽田 正
15	小説における時間と空間－ミシェル・ピュートルの小説理論から(その一)－	志賀 亮一
17	接尾辞-able(-ible)について	橋本 友子
18	カート・ヴォネガット『ジェイルバード』論－その一 カイヤホーガの惨劇とサッコ・ヴァンゼッティ事件の意味－	鎌田 明子
19	雪国のすべり遊び	松下 桂子
20	コメニウスにおける生涯教育の構想Ⅲ－成人教育論を中心において－	佐藤 令子
21	青年中期から後期への性格形成の追跡調査－報告その一・高校編－	谷口 豊子
22	阿城伝説にみるルーツ文学	中川 俊
23	モロッコ王国・地球科学博物館の基本構想(提案)	千地 万造
24	大学研究彙報(昭和62年度 共同研究報告)	

橘女子大学 研究紀要 第13号(1986年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
-----	------	------

1	「ディルタイ・ルネサンス」理論と歴史とのあいだを宥和する企てのための「歴史的理性批判」について	西山 勤二
2	ヨオゼフ追憶 その十二	南 順三
3	中世女性の栄光と実像－北条政子と日野富子－	田端 泰子

4	最近のフロラ・トリスタン研究からーペルーにおける研究の紹介を中心にー	杉村 和子
5	サレルノのソロモンー12世紀中葉のあるイタリア商人ー	山辺 規子
6	D・H・ロレンスにおける“死と生”ー初期の三つの小説を中心としてー	杉山 泰
7	Athol Fugard戯曲の秘密ー‘Masler Horold’…and the boysを中心にー	平田 康
8	《退任記念講演》わが回想の記ー東洋と西洋とー	長廣 敏雄
9	大学研究彙報(昭和60・61年度 共同研究報告)	

橘女子大学 研究紀要 第12号(1985年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	ヨオゼフ追憶 その十一	南 順三
2	『沙石集』所載の連歌について	井口 壽
3	古代・中世の「家」と家族ー養子を中心としてー	田端 泰子
4	政治家ラマルティエヌに関する一考察	杉村 和子
5	天福本『伊勢物語』の問題点ー「むまのかみ」・「うまのかみ」その他ー	吉池 浩
6	百姓一揆と国訴	藪田 貫
7	The Dreaming of the Bonesの現代性	平田 康
8	弾劾された修道院長	山辺 規子
9	ヴェルナー・ゾンバルトの理論と歴史とのあいだを有和する企て	西山 勤二

橘女子大学 研究紀要 第11号(1984年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	守川正道先生を偲んで	西山 勤二
2	フィリピンの古来文化ー伝承と真実ー	守川 正道
3	労働者の新聞『アトリエ』とポーランド問題ー一八四八年の革命を中心にー	杉村 和子
4	大正デモクラシーとR・ブラウニング	多田 英次
5	ヨオゼフ追憶 その十	南 順三
6	国会の議決再考ー経験法学としてのー	安部 浜男
7	シュプランガーと日本(Ⅲ)ーその意識と現実ー	佐藤 令子
8	更級日記の問題点ー作者結婚の時期と作品の構造ー	吉池 浩
9	「夜の寢覚」における男性観の特色ー考標女作者説に向けてー	鈴木 紀子

橘女子大学 研究紀要 第10号(1983年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	トマス・モアと『ユートピア』	多田 英次
2	ヨオゼフ追憶 その九	南 順三
3	大和物語の問題点ー「散りぬれば」の歌などを中心としてー	吉池 浩
4	鬼貫の「悟り」についての試論	井口 壽
5	宮沢賢治「グスコーブドリの伝記」成立考ーひとつの仮説の試みー	萬田 務
6	土一揆の組織性と私徳政ー續・都市と農村の対立ー	脇田 晴子
7	中世における女性の地位と役割ー婚姻形態を通じてー	田端 泰子
8	得物・鳴物・打物ー百姓一揆研究ノートー	藪田 貫
9	フロラ・トリスタンとパリの労働者たちー労働者の新聞『ルシュ・ポピュレール』と『アトリエ』の場合を中心にー	杉村 和子
10	国木田独歩「源おぢ」の一面	上田 博

11	「京言葉」記述の試み－記述の方法、及び人称代名詞に関する記述－	寺島 浩子
12	紀州和歌山宇治の産・宇治加賀掾の世界－三浦家文書を中心に－	安田 富貴子

13	英語の文頭の削除について	橋本 友子
14	いまなぜ外国語かー英語を通して日本語を眺めるー	杉山 泰
15	『秘密の部屋』の秘密ーその構造と意味するものー	志賀 亮一
16	デカルトの懐疑における欺く神と永遠真理創造説	碓井 敏正
17	Our Townにおける演劇空間の特性	鎌田 明子
18	大学スポーツ考	松下 桂子
19	Death of a SalesmanにおけるRequiemの場面の持つ意味について	平田 康
20	コメニウスにおける生涯教育の構想Ⅱー誕生前教育と新生児教育ー	佐藤 令子
21	敦煌石窟と敦煌学	長廣 敏雄

橘女子大学 研究紀要 第9号(1982年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	ヨオゼフ追憶ーそのハー	南 順三
2	学校内暴力について（特に教師に對する暴力について）	原 勤四郎
3	「虞美人草」の一考察ー藤尾と小野の恋愛を中心にー	萬田 務
4	二月革命の勃発とフランスの外交方針ーラマルチーヌの「マニフェスト」を中心にー	杉村 和子
5	啄木の評論「文学と政治」の周辺	上田 博
6	ウイルソン年譜（稿）	守川 正道
7	日本語の拗音についてー音韻論的ー考察ー	橋本 友子
8	The Merchant of Venice の劇構造についての一考察	平田 康
9	「シュブランガーと日本」(2) E・シュブランガー生誕百年にあたって	佐藤 令子
10	マックス・ヴェーバーの 理論と歴史とのあいだを宥和する企て	西山 勤二

橘女子大学 研究紀要 第8号(1981年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	文学の世界	多田 英次
2	ヨオゼフ追憶ーその七ー	南 順三
3	助動詞「まし」の成立その他ーけむ・まし・けり・たり・らむ・めりー	吉池 浩
4	資料紹介▼ハーバード・エンチン図書館蔵『たうけわだ』について	安田 富貴子
5	マルブランシュにおける心身問題の諸相	碓井 敏正
6	『名前がなくなれば人は存在しない』ーアーサー・ミラー劇の一考察ー	平田 康
7	美術様式とは何か	長廣 敏雄

橘女子大学 研究紀要 第7号(1979年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	ヨオゼフ追憶 その六	南 順三
2	史料紹介:フロラ・トリスタンの“ユートピア”ー『労働同盟(ユニオン・ウープリエール)』・『協同施設(パレ)』の構想についてー	杉村 和子
3	カール・ランプレヒト対新ランケ学派。あるいは理論対歴史	西山 勤二
4	コメニウスにおける生涯教育の構想(Ⅰ)	佐藤 令子
5	スピノザの自然権思想と私的倫理	碓井 敏正
6	『バーリヤの浜辺で』について	平田 康
7	Wirthの制限的名詞縮約規則について (Restricted Nominal Reduction)	橋本 友子

橘女子大学 研究紀要 第6号(1978年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	シェクスピア劇の女性像	多田 英次
2	ウィルソンの恋愛観と黒人観	守川 正道
3	天福本『伊勢物語』の書写者	吉池 浩
4	宮沢賢治童話集『注文の多い料理店』試論	萬田 務
5	発達権と基本的人権体系論	金田 勲
6	フンボルトの哲学と歴史とのあいだを宥和する企て	西山 勤二
7	死の床におけるブルーノとマロウン-2-	鎌田 明子
8	写実主義の終焉をめぐる -アラン ロブ=グリエ『迷路の中で』を中心として-	志賀 亮一

橘女子大学 研究紀要 第5号(1977年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	近世後期上方語の待遇表現 -人称代名詞について その一-	寺島 浩子
2	ウイルソンの初期政治思想 -「議会政治」への過程-	守川 正道
3	ヨオゼフ追憶 その五	南 順三
4	条例制定の制御構造と住民参加 -条例制定権の構造分析 二-	金田 勲
5	ヘーゲルの哲学と歴史とのあいだを宥和する企て	西山 勤二
6	関係詞Thatの品詞について	橋本 友子

創立十周年橘女子大学研究紀要 第4号(1976年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	おくのほそ道の諸問題	岡田 利兵衛
2	近世後期上方語の待遇表現 -動詞にかかわる上方特有の表現法-	寺島 浩子
3	山本恭順考 -或る名所記作家としての生涯-	安田 富貴子
4	方丈記の構造 -その二重構造について-	吉池 浩
5	色の形容詞と短歌	藪田 尚一
6	室町期の荘園領主と農民 -山科家領を中心として-	田端 泰子
7	徳政令と徳政免除 -所有の論理をめぐる-	脇田 晴子
8	川路聖謨のこと -奈良奉行時代の一面-	前田 一良
9	内村鑑三の性格について	室田 泰一
10	詩經小雅甫田篇解補説	宇都宮 清吉
11	美術史家としての張彦遠	長廣 敏雄
12	ヨオゼフ追憶 その四	南 順三
13	ウイルソンの初期政治思想	守川 正道
14	条例制定の構造と背景 -総括的試論 -条例制定権の構造分析(その1)-	金田 勲
15	スポーツの現状-その一考察-	松下 桂子
16	最近の女子学生の動向についての一調査	原 勤四郎
17	Lateralityの要因分析について -林氏の数量化理論第3類による-	谷口 豊子
18	カント対ヘルダー-あるいは哲学対歴史	西山 勤二
19	Pippa Passesの構成について	藤井 義久
20	Presuppositionと意味 (presupposition in English Semanties)	橋本 友子
21	ビクトリア朝の妥協について	多田 英次

22	死の床におけるブルーノとマロウン 1	佐野 明子
----	--------------------	-------

23	コメニウスの「地上の迷路」－絶望からの回帰－	佐藤 令子
24	ソポクレースの『アクリシオス』＝『ダナエー』	木曾 明子

橘女子大学 研究紀要 第3輯(1970年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	ヨーゼフ追憶(其の三)	南 順三
2	戦国大名と国人領主制	田端 泰子
3	Morale provisoire か Morale définitive か	湯川 佳一郎
4	寛容令と市民的自由の問題	長沼 忠兵衛
5	Spranger und Japan	佐藤 令子
6	ACTUAL PERCEIVING	松本 晋
7	J. M. Murry の Keats and Shakespeare について	甲元 健雄
8	読書雑記(二)	岩本 裕

橘女子大学 研究紀要 第2輯(1969年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	ヨーゼフ追憶(その二)	南 順三
2	方丈記攷 ― 広本方丈記と略本方丈記をめぐって―	長崎 健
3	黄山谷の「演雅」の詩	荒井 健
4	ホールの知識論をめぐって ―形式主義分析哲学研究ノート―	松本 晋
5	後期シュアート期における長老派の動向について	長沼 忠兵衛
6	ソポクレースのペルセウス三部作	木曾 明子
7	Die psychologische Erziehungsberatung im Dienst der Kunsterziehung in der Pubertät(13.-15.Jahr)	佐藤 令子
8	読書雑記(一)	岩本 裕

橘女子大学 研究紀要 第1輯(1968年度)

掲載順	タイトル	執筆者名
1	ヨーゼフ追憶(その一)	南 順三
2	後期シュアート期における「信仰自由」政策をめぐる問題	長沼 忠兵衛
3	庄園制的支配の成立 ―人と土地との支配をめぐって―	脇田 晴子
4	Wallace Stevensの世界 ―Imagination and Reality―	加茂 映子
5	頼原ノート古浄瑠璃資料抄	安田 富貴子
6	梵文和訳 大無量寿経(極楽の讃仰)	岩本 裕